

授業科目名 ( 英文名 )	物質創成工学セミナー (Advanced Seminar on Materials Construction Engineering)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1・2・3年次 後期
担当教員	八重 真治 嶺重 温 野崎 安衣 岸 肇	所属	工学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	薄膜材料、高分子系複合材料、無機材料および触媒材料に関する最新の学術成果を理解し、発信・討論することで、これら機能性材料に関する新規分野開拓の能力を養うことを目的とする。		
講義内容・授業計画	<p>科目の位置付け・教育内容・方法</p> <p>薄膜材料、高分子系複合材料、無機材料および触媒材料に関する最新の学術論文を輪読しプレゼンテーションを行い、内容を討論する。</p> <p>授業計画</p> <p>第1 - 4回 八重真治 ガイダンスの後、薄膜材料の特徴であるバルクとは異なる構造と物性に関して学術論文を輪読する。</p> <p>第5 - 8回 岸肇 高分子材料の中でも特に、高分子を母材とし繊維材料を強化材とする繊維強化複合材料に関して、学術論文を輪読する。</p> <p>第9 - 12回 嶺重温 無機材料の中でも特に、電気伝導性材料の伝導機構に関する学術論文を輪読する。</p> <p>第13 - 15回 野崎安衣 触媒材料の中でも特に、金属触媒のナノ構造制御や反応特性に関する学術論文を輪読する。</p>		
テキスト	配布プリントなど		
参考文献	授業の中で指示する		
成績評価の基準・方法	履修生による口頭発表と討議60点、レポート40点により総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考	本学の配付資料を参照してください。		